

## 2024 年度 西洋政治思想史 1 期末試験問題

**I 知識問題 配点：3問×20点満点＝60点** 以下の三問について、指定されたキーワードを用いながら、答えてください。各キーワードを適切に使用することに1点（10点満点）、そして説明のクオリティーによって最大10点を加えます。答案では、使用したキーワードに下線を引くこと。キーワードを答案内で使用する順番は自由。

1 古代アテナイの民主政について以下の10個のキーワードを使いながら説明してください。

シノイクスモス、ソロンの改革、クレイステネスの改革、プニュクス、500人評議会、民衆裁判所、公職者の抽選制、女性と奴隷の地位、ペリクレス、デロス同盟、

2 共和政ローマについて以下の10のキーワードを使いながら説明してください。

貴族と平民の対立、コンスル、段階的昇進制度、元老院の権威、護民官の差し止め権、民会の提案権、混合政体、同盟都市と属州、帝政への移行、ローマ法における占有

3 マキャヴェリ、モンテスキュー、スタールのローマ論について以下の10のキーワードを使いながら説明してください。

マキャヴェリ、貴族と平民の対立、スパルタとヴェネツィア、モンテスキュー、平民の台頭、イギリス、スタール、文武のキャリアの融合、段階的昇進制、威厳と共感

### 【解説】

例年と異なり、今回の知識問題では、穴埋めではなく、講義レジュメに登場する語句を使って、一貫性のある記述を行うことを求めた。語句の意味をしっかりと理解していることが解答の前提となるという点で例年よりも難易度が高い。

**II 論述問題 配点：3問×20点** 以下の4問の中から、3問を選択して答えてください。

1 アテナイの民主政とローマの共和政の共通点と異なる点を列挙したうえで、どちらの政治体制の方が優れているか、自分の意見を展開してください。

### 【解説】

・この問題を解く際には、近代代議制と、古代アテナイ民主政・ローマ共和政との比較をまずは行ってアテナイ・ローマの共通点を把握し、そのあとでアテナイとローマの違いを把握する、という手順をとることが適切である。

・アテナイ・ローマの共通点は、①もともと都市国家であったこと、②代議制ではなく、市民の政治参加が活発であったこと（民会等）、③奴隷制に立脚していたこと、などである。異なる点は、A アテナイ民主政が抽選による公職者の任命、民会中心の政

治、政治からの外国人の排除、などを特徴とするのに対して、B ローマ共和政では、選挙による公職者の任命、元老院を中心とした貴族層主導の政治、移民の積極的な受け入れ、などを特徴としたこと（共通点、異なる点は、他にもあり、上記の諸点以外を取り上げてもよい）。

・共通点・異なる点を列挙したあと、優劣問題を論じる必要があるが、その際には、異なる諸点についてどのような判断を下すかが問われる。比較したうえで優劣を論じるので、比較項を揃え（抽選か選挙か、民会中心か元老院中心か、etc.）、それぞれについて判断を下す必要がある。授業時に小テストの形で練習した、比較論の展開の仕方をマスターすることが重要である。

2 アテナイの民主政と現代の代議制を比較したうえで、どちらの政治体制の方が優れているか、自分の意見を展開してください。

#### 【解説】

・問1の作業を踏まえて、1と同様に比較項を揃えて優劣判断を下す。その際、講義で解説された、古代・近代比較の論争史を踏まえた議論ができると、なおよい。

3 政治における貴族政（エリート）の位置づけについて、モンテスキューの世襲貴族論、スタールの知識人エリート論、コンスタンの民間知識人論を比較しながら、自分が最善だと考える貴族政の在り方について意見を展開してください。

#### 【解説】

・モンテスキューは、世襲貴族、スタール夫人は公教育と段階的昇進性によって形成される政治家階級、そしてコンスタンは政治家階級ではなく、市民社会において公論を先導する知識人の影響力に期待した。講義時に解説したように、現代において世襲貴族政は可能か、知的・政治的エリート層は公共善のために尽力するという仮定は現実的か、民間知識人には政治を動かす力が本当に備わっているのか、といった点が論点となる。

4 ギリシア多神教とキリスト教を比較したうえで、現代政治における宗教・道徳の役割について自分の意見を展開してください。

#### 【解説】

・ギリシア多神教とキリスト教・一神教の違い（神・神々の権威の強弱、聖職者層の有無、これらの違いの帰結としての市民精神の違い）については講義時に詳しく解説した。同時に、科学的な世界観の普及に伴い、ギリシア多神教も一神教も、過去と同様の形で存続することが難しくなったことも説明した。さらに、政治と宗教の関係、宗教と道徳の関係についても、ルソーの市民宗教論やコンスタンのギリシア多神教論の解説を通じて説明した。以上の諸知識を踏まえて、自分の意見を展開する必要がある。

## 【総評】

・今回の論述問題は、基本的に比較論という形での論述が求められている。授業時に練習問題・小テストという形で数回、比較論の展開の仕方を練習したが、それを十分にマスターすることができたかどうか、得点に大きく影響した。

・本授業では、知識の十分な習得を前提に、論述を展開することが求められている。したがって、講義レジュメの十分な復習に加えて、論述対策を行っておく必要がある。